
しまっ子保健通信

2024. 10. 7 NO.15 島小 ほけんしつ

全国的にマイコプラズマ肺炎の患者が急増しており、2016年の大流行から8年ぶりの大流行だといわれています。市内では学級閉鎖をした小学校もあります。本校では流行とまではいきませんが、数人の感染報告を受けています。咳が続く場合は、咳エチケットとともに早期受診をお願いいたします。

マイコプラズマ肺炎とは？

マイコプラズマ肺炎は「肺炎マイコプラズマ」という細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症です。小児や若い人に比較的多いとされています。特に14歳以下の子どもでは注意が必要です。

主な症状

発熱や全身の倦怠感（だるさ）、頭痛、咳などの症状がみられます。咳は少し遅れて始まることもあります。咳は熱が下がった後も長期にわたって（3～4週間）続くのが特徴です。肺炎マイコプラズマに感染した人の多くは気管支炎で済み、軽い症状が続きますが、一部の人は肺炎になったり、重症化したりすることもあります。

感染経路

感染した人の咳のしぶき（飛沫）を吸い込んだり（飛沫感染）、感染者と接触したりすること（接触感染）により感染すると言われています。感染してから発症するまでの潜伏期間は長く、2～3週間くらいとされています。



治療方法

マイコプラズマ肺炎はマクロライド系抗菌薬で治療されます。軽症で済む人が多いですが、重症化した場合には入院して治療が行われます。咳が長引くなどの症状がある時は、医療機関で診察を受けるようにしましょう。

予防と対策

普段から流水と石けんによる手洗いをするのが大切です。また、感染した場合は家族間でもタオルの共用は避けましょう。咳の症状がある場合にはマスクを着用するなど「咳エチケット」を守ることを心がけましょう。

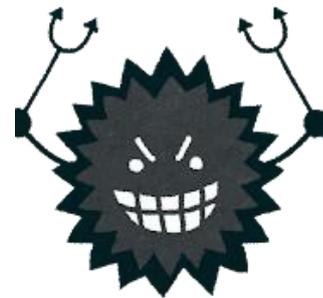


引用文献：厚生労働省ホームページ

風邪との違いは、鼻水、鼻づまりといった鼻の症状が少ないことです。

痰のない乾いた咳も特徴です。また、耳の痛みを訴えるケースもあります。

マイコプラズマが耳に入ると中耳炎で耳が痛んだり、胃腸に入ると嘔吐や下痢を
起こしたりすることもあります。



マイコプラズマ感染症は学校保健安全法に定められた「学校感染症」の中で、第三種の感染症に分類されています。明確な出席停止期間などは定められておらず、登校が可能かどうかは症状により医師が判断します。医師より出席停止の指示がありましたら学校までお知らせください。「学校感染症連絡票」をお渡ししますので、医師の指示通りに保護者の方が記入し、学校まで提出をお願いします。

運動会を控えていますので、ご家庭でもお子さんの体調管理等、よろしくお願いいたします。朝から体調が悪いときは無理をせず、休養するようにしてください。





こんしゅうまつ
今週末は いよいよ 運動会！

- ・前日は早く寝ましょう。
- ・当日は朝ごはんを食べてきましょう。
- ・はきなれた靴をはきましょう。
- ・水筒を持ってきましょう。(当日は学校でお茶の準備はありません。)



スポーツドリンクの持参は運動会当日までです。それ以降の持参は控えてください。また、学校でのお茶の準備は前日で終了します。当日は十分な量のお茶を持たせてください。運動会終了後も水筒は1年を通じて持つてくるようにご協力をお願いいたします。

